

「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等(平成25年6月分)について

(1) 問い合わせ件数

平成25年6月1日～平成25年6月30日 60 件

(うち、放射性物質関連 0 件)

(2) 内訳

項目	件数	主な内容
① 食品安全委員会関係	11 件	
委員会	1 件	自ら評価(1件)
リスクコミュニケーション	16 件	発行物関係(2件)、ホームページ関係(4件)、 リスコミ(4件)、食安委作成DVD(1件)
② 食品健康影響評価関係	16 件	
評価全般	1 件	安全係数(1件)
化学物質系	8 件	農薬(2件)、食品添加物(2件)、トランス脂肪酸(2件)、 アクリルアミド(1件)、フタル酸エステル(1件)
生物系	0 件	
新食品	6 件	特定保健用食品(3件)、遺伝子組換え食品(3件)
BSE	1 件	中国産牛肉(1件)
その他	0 件	
③ 食品一般(リスク管理等)関係	32 件	
化学物質系	8 件	食品添加物(5件)、ヒ素(1件)、メラミン(1件) 等
生物系	2 件	自然毒(1件)、微生物(1件)
新食品	1 件	健康食品(1件)
プリオン	0 件	
衛生関係	17 件	輸入食品(6件)、衛生管理(3件)、アレルギー(2件)、 鳥インフルエンザ(1件)、放射線照射(1件)等
食品表示関係	3 件	原料原産地表示(1件)、添加物表示(1件)、 遺伝子組換え表示(1件)
その他	1 件	栄養バランス(1件)
④ その他	1 件	

(参考) 問い合わせ件数推移

平成 24 年							平成 25 年					
6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
89	57	49	68	88	74	56	57	61	66	96	64	60

(3) 主な質問とその回答

① 食品健康影響評価関係

【化学物質系】

・ネオニコチノイドの評価書とEUの最新事情について知りたい。

⇒ ネオニコチノイド系の農薬で現在評価されているものは、アセタミプリド、イミダクロプリド等で、食品安全委員会のホームページの「食品安全総合情報システム」から検索できる。「評価書」から「農薬」を選択すると表示される。

各国の情報についても「食品安全関係情報」からネオニコチノイドというキーワードで検索すると関連情報を見ることができる。

・トランス脂肪酸について教えてほしい。

⇒ マーガリンやショートニングに含まれるもので、心筋梗塞や狭心症などを増加させるとして危険性が指摘されたもの。WHOではトランス脂肪酸の摂取量を最大でも「1日当たり総摂取エネルギー量の1%未満」とするよう勧告している。日本では食品安全委員会が評価した結果、日本人の摂取量はほとんどの方で1%未満であり通常の食生活では健康への影響は小さいと考えられている。

最近では食品メーカーも低減努力をしているが、食品の中には高いものもあると思われる。一日の食事の中でバランスの良い食事を心がけるようにしていただきたい。

なお、関連情報は食品安全委員会の季刊誌第30号に特集を掲載しており、ホームページからダウンロードできるので参考にしてほしい。

【新食品】

・大豆イソフラボンについて、体に良いというので積極的に摂ろうと思っているが、一日の摂取量上限を75mgとしているのはどういう理由なのか知りたい。

⇒ 大豆イソフラボンは女性ホルモンに似た物質で過剰摂取による健康影響が懸念されている。食品安全委員会で安全性の評価を行った際に、150mg/日を超えると子宮内膜に影響を与えるところから、その約半分の70~75mg/日を1日の安全な摂取目安量の上限值として示したものである。

通常の食生活では、たいていの日本人の摂取量は1日70mg以内であり、特に安全上問題はないと考えられるが、過剰に摂ることがないように、いろいろな食品をバランスよく摂っていただきたい。

② 食品安全委員会関係

・食品安全委員会のホームページに掲載されている食中毒菌の電子顕微鏡写真を使用したい。

⇒ 食品安全委員会のホームページからの出典であることを明記していただければ引用はかまわない。